

# 経営比較分析表（令和3年度決算）

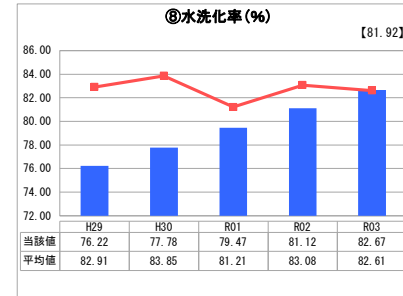
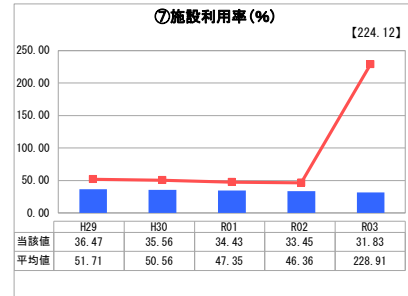
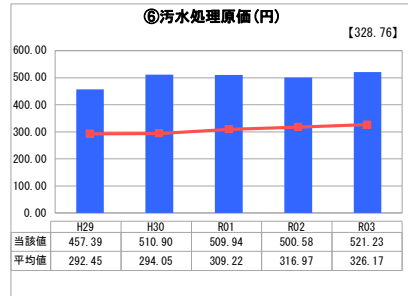
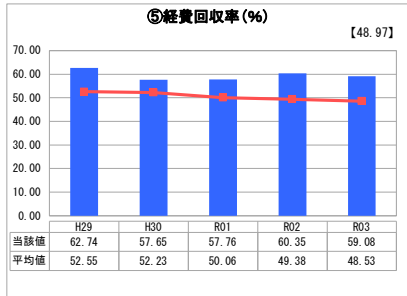
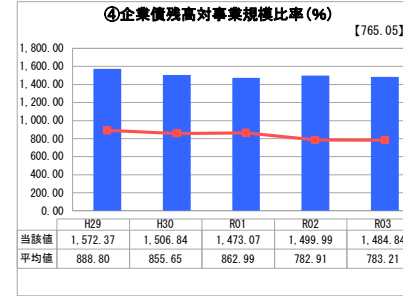
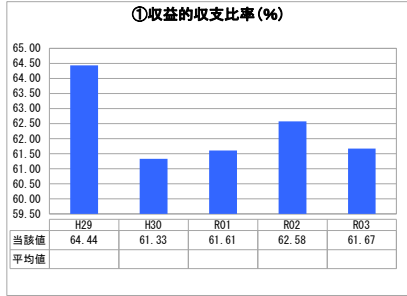
北海道 梶加内町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	個別排水処理	L2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	36.59	100.00	3,972

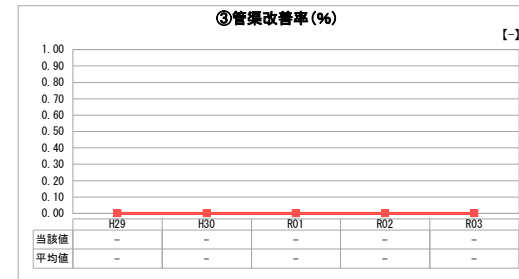
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
1,332	767.04	1.74
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
479	0.05	9,580.00

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【】	令和3年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

○収益的収支比率・料金回収率  
浄化槽使用料金については、上下水道料金と違い、固定料金の為、毎年の比率改善はしにくい状況であり、比率を改善していくために検討を行っていく。

○水洗化率  
上昇傾向にあるが依然として平均値よりも低い状況が続いている。

### 2. 老朽化の状況について

○老朽化等の状況  
平成7年度より事業を実施しており、法定耐用年数以上の浄化槽は無いが、適切な維持管理を実施し長寿命化を図っていく。

### 全体総括

○過去に料金改定を行い回収率の増加を図ってきたが、一般会計からの繰入に依存している状況である。今後は、更なる料金改定等を検討していく必要がある。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。